

特集

野間辰美に聞く最近のクロ釣り事情

後編

主題

『クロは潮を釣れ!』

潮目、流芯、激流、当て潮、湧き潮、ヨレ潮、etc. 潮の流れは複雑多岐。
そんな中でクロを攻略する楽しさ、ぜひ味わっていただきたいものである!!

— ごあいさつ2 —

最近、よく若い人達と釣りに行く機会も多くなったけど、今の若い人って遠慮がちなんだろう!?というの、仮に私が先にクロを釣ったりした時なんか「どんな感じの釣り方ですか?」「どのぐらいのタナで釣ってるんですか?」とかあまり聞いてこないというか、聞かないね。昔、先輩の人達に連れて行ってもらった時なんか、時には竿を出さないで後ろから釣りをしていたり、先輩がクロを釣ったら「どんな仕掛けですか?」「どのぐらいのタナですか?」なんてうるさいぐらいに聞いてたんだけどね。まあ、それが良いか悪いかは分からないけど、でも聞いて悪いことじゃないと思うよ。今は「自分で考えろ!」って人は少ないと思うから(笑)。



鹿児島市在住

デカクロを年中、
追っかけてます!

野間 辰美

『当て潮』でクロを釣る

(前号に続き「当て潮」から)

野間氏 当て潮の時はクロは底の方から上に向けて食ってくるから、深く仕掛けを入れると魚より下の方にツケエサが入ってしまう。釣りダナは浅めにタナ決めて仕掛けを立たせないといけない、ハリスにガン玉を噛み付けたりしてね。

例えば自分が釣ってるポイントに当て潮が入らない時でも、少し離れたところなんか当て潮が見られるようだったら真っ先にそこを狙うね、とにかく集中的に!

皆、ゴミが溜まったりしていると敬遠したりするけど、そこにはマキエサが間違いなく入っ

前号では、様々な潮周りによるクロの攻略法について野間氏に伺ったのですが、話の途中で終わってしまっただ変申し訳なく思っております。クロ釣りをライフワークとする野間氏のトリークが熱すぎる余り、編集部で想定していたページキャパを遥かにオーバーしていました。

一人でも多くの方々にクロ釣りを楽しんで頂きたいという野間氏の思いがあったのでしよう。クロ釣りトリークは深夜近くまで続き、野間氏の並々ならぬクロ釣りへの情熱を痛感した次第です。

今現在、クロ釣りは正にベストシーズン真っ只中!

それではさっそく『クロは潮を釣れ!』その後編をお届けしたいと思います。

てるから、時には風でゴミや藻が寄せられたりしてるときもあるけど、その場合は別として潮で流されてきているようだったらもう最高の条件。そんなところで喰ってくるクロはほとんどが良型だね。

とにかく浅く浅く。深く入れすぎるとブダイがガツンって(笑)。

そのことを頭に入れてもらえば当て潮の攻略はそれほど難しくはないと思う。ウキも軽いモノじゃなくて、ドッシリ構えた形状の2Bとか3Bとかで

やったほうがいいと思う。

そうでないと仕掛けを立たせることができないからね。

瀬に当たった潮の跳ね返り

瀬に突き当たっていく潮

潜り潮

潮が瀬に突き当たると潮は逃げ場を失い跳ね返る。跳ね返る潮と、さらに沖から流れ込んでくる潮とがぶつかり合うと、勢いの弱い方が勢いのある潮に押さえ込まれるような格好で潜り潮が発生することもある。その潜り潮に仕掛けをゆっくり送り込んでいくとクロの良型も期待できる。ただし、ある程度送り込んだら仕掛けをゆっくり引き揚げ、再度浅ダナから落とし込んでいく。やみくもに深く落としこんでいくとブダイや正体不明の魚にやられたりする、要注意。